

昨年9月9日の午前2時頃、息子の務めの関係で、朝飯の支度をしていたら突然電気が消え、炊飯ジャーのスイッチも止り、あわてて仏壇のローソクや、懐中電灯をつけて、何とか間に合わせました。それから丸2日間、電気がない生活でした。

小学生でしたが空襲の時の防空壕生活を思い出しました。手掘りの壕の中で、町内中が身を寄せ合って、航空隊の地元なので、爆音や機銃掃射の音や火花におびえていました。それに比べれば停電は恐るるに足らんやと思いましたが、普段何気なく使っている電気のありがたさが分りました。

築50年以上の陋屋の2階と台所の雨もりには閉口しました。罎やバケツを総動員して、なす術もなく、雨もりを受けていました。

冷蔵庫も止り、食糧は息子がパックの弁当やら、インスタントのラーメンや、ペットボトルの2ℓの水や麦茶等を仕入れて来て、一家が何とか凌ぐことが出来ました。アンテナも曲り、TVが写らなくなり、追いうちをかける様に、19号、風速52メートルの大風で、羽が生えた様に簾がどこかへ飛んで行ってしまいました。近所の空家の瓦が大部分落ちて道路を車が通れないので、近所の人達が端へ寄せたり、家の隣の空家も庭中メチャメチャで、親類の人達と片付けたりしました。

その後、市から派遣された、習志野の隊員の方達がテキパキ二階へ梯子をかけて、重い砂袋を持ってブルーシートをかけて下さり、ありがたかったです。(計3回)

その後市役所へ罹災証明書の受け付けに行ったり、市役所から調べに来たり、初めての経験ばかりで戸惑う事ばかりでした。

東京湾観音が出来てから、千葉県は台風が来ない等と安心していましたが、効力がなくなっただけでしょうか。もうもう二度とこんな経験は御免です。